

2010年12月16日

報道関係各位

株式会社バンダイナムコゲームス
日本電気株式会社

電気自動車の走行情報が見える最大規模のカーシェアリング実験開始 ～ 12月20日から実験参加者を募集開始 ～

株式会社バンダイナムコゲームス（代表取締役社長：石川 祝男）および日本電気株式会社（代表取締役 執行役員社長：遠藤 信博）は、横浜みなとみらい21地区（横浜市西区）で、電気自動車（以下、EV）「日産リーフ」を用いて、約250名の参加者を募る国内最大規模のカーシェアリング実証実験を2011年1月より行います。本実験では、EVをネットワークでつなぎ、走行情報が見える環境を実現します。

また、本実験への一般参加者を、2010年12月20日よりWebサイトにて募集開始します（応募サイトURL：<http://ev-drive.jp/>）。

本実験は、総務省から受託した「スマート・ネットワークプロジェクト」（注1）の屋外実験チームである「EVサポートネットワーク」における「EV走行情報の見える化」の実験として、街中で電気自動車の活用を支える通信規格の標準化を目的として行うものです。

カーシェアリングは、複数のユーザー間において、共同で特定の自動車を利用するサービスです。カーシェアリングの普及拡大により、環境負荷の低減・交通渋滞の緩和などの社会的なメリットが見込まれています。

このたびの一般参加者を対象とした実証実験では、EVを用いたカーシェアリングサービスの実現に向けて、EVの充電状態や位置情報をセンターからネットワークを介して管理し、携帯情報端末やパソコンで見られる環境を提供します。

利用者は、本環境でEVの試乗や充電体験を通じて、実際に近いカーシェアリングサービスを体験できます。

両社は、本実験から得られたデータなどを活用し、今後も「スマート・ネットワークプロジェクト」の「EVサポートネットワーク」グループにおいて、電気自動車の利用促進に向けて、充電インフラ整備や効率的な車両運行管理のために、情報通信サービス基盤の整備・標準化を進めてまいります。

以上

注1：「スマート・ネットワークプロジェクト」

平成21年度第2次補正予算「ネットワーク統合制御システム標準化等推進事業」の一環として、本年6月に総務省で採択。低炭素社会の実現に寄与する通信規格の策定と検証が目的。今回のカーシェアリング実証実験は、本プロジェクトの内、街中での電気自動車の活用を支える通信規格の標準化を目指す「EVサポートネットワーク」グループが推進。

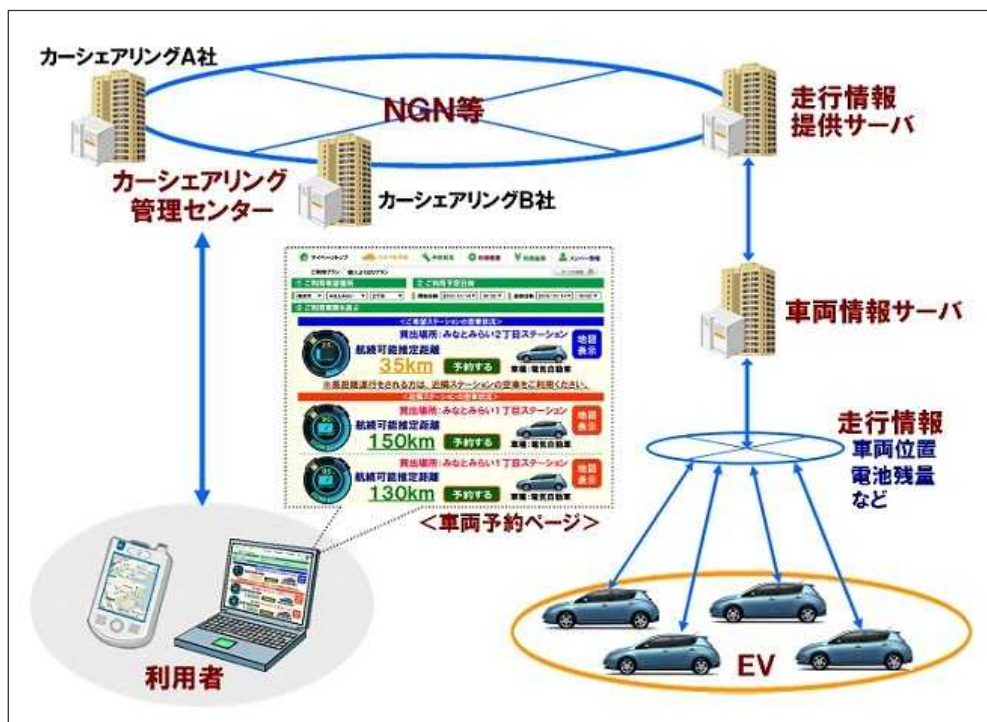
URL <http://smart-network-pj.net/>

<別紙> 実証実験の概要

カーシェアリング実証実験の目的

本実証実験は、平成 21 年度第 2 次補正予算「ネットワーク統合制御システム標準化等推進事業」に基づいて、EV（電気自動車）を用いたカーシェアリングの運用に必要な『電池残量情報等の EV 走行情報に関する通信インターフェースの標準規格』を策定・評価することを目的としています。

【イメージ】



NGN NTT が提供する次世代ネットワーク

実証実験の概要

- 期 間 : 2011 年 1 月下旬～3 月中旬
※一般モニター参加期間
2011 年 1 月 29 日（土）～2011 年 2 月 28 日（月）
- 時 間 : 10 : 00～16 : 45（予定）
- 運転会場 : 横浜みなとみらい 21 地区
- 規 模 : 一般モニター 約 250 名
- 車 両 : EV 2 台（「日産リーフ」を予定）
- 実験内容 : EV の予約・運転・充電体験・事前事後アンケート調査
- 所要時間 : 平日 約 90 分/人、土・日・祝日 約 55 分/人
- 応募サイト : <http://ev-drive.jp/>